



2021年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年7月10日

上場会社名 北雄ラッキー株式会社
 コード番号 2747 URL <https://www.hokuyu-lucky.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桐生 宇優

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長兼経理部長 (氏名) 鴫澤 賢治

TEL 011-558-7000

四半期報告書提出予定日 2020年7月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第1四半期の業績(2020年3月1日～2020年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第1四半期	10,076	2.1	198	138.1	205	139.8	138	182.6
2020年2月期第1四半期	9,868	0.8	83		85		48	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第1四半期	109.21	
2020年2月期第1四半期	38.64	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第1四半期	19,426	5,003	25.8	3,958.36
2020年2月期	18,910	4,925	26.0	3,896.52

(参考)自己資本 2021年2月期第1四半期 5,003百万円 2020年2月期 4,925百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期		0.00		50.00	50.00
2021年2月期					
2021年2月期(予想)		0.00		50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)通期									

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2021年2月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を精査中であり、現時点では合理的な算定が困難であることから、2020年4月10日に公表した業績予想を一旦取り下げ、未定とさせていただきます。今後の動向を見極めながら、業績予想の算定が可能となった時点で改めて公表いたします。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期1Q	1,264,640 株	2020年2月期	1,264,640 株
期末自己株式数	2021年2月期1Q	610 株	2020年2月期	610 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期1Q	1,264,030 株	2020年2月期1Q	1,264,030 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	7
第1四半期累計期間	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2020年3月1日～2020年5月31日)におけるわが国経済は、世界規模の新型コロナウイルス感染拡大とその拡大防止のための様々な自粛・休業要請により、経済活動が停滞し景気は急速に悪化が続いており、極めて厳しい状況にあります。先行きにつきましては、感染症の収束時期の見通しが立たず、今後の新たな感染拡大の可能性に加えて、各国の海外渡航制限により、インバウンド需要が消失し、サプライチェーンリスクが顕在化するなど、内外経済の下振れリスクの高まりが懸念される状況となっております。

スーパーマーケット業界におきましては、消費税増税による消費者の生活防衛意識が強まる状況への対応に、新型コロナウイルス感染症による影響も加わり、慢性的な人手不足とそれに伴う人件費高騰への対応と伴に、地域のライフラインとしての役割を果たすことが大きな課題となっております。また、同業種・異業種を問わない業務提携や業界再編により、市場のシェア争奪戦が一層激化しており、引き続き厳しい経営環境となっております。

当社は、このような消費低迷や競争激化といった状況に対処するため、「商品力」、「現場力」及び「マーケティング力」の強化による確固たる競争力の構築を最大の課題として取組み、品質・価格等の多様化する顧客ニーズに対応してまいりました。更に適切な人員配置及び作業スケジュールの精度向上による作業効率改善により労働生産性の向上を図り、またあらゆるコストを見直し、持続可能な企業経営の確立に努めてまいりました。

当社におきましては、お客様にとって価値がある商品を提供することにより、お客様に当社の価値や想いを共有していただき、お客様との信頼関係及び共感を強固に築き上げて「ラッキーブランド」の確立及び企業価値の向上に努めてまいりました。

営業面においては、社会構造・情勢の変化により節約志向や即食需要が更に高まる中、簡便及び健康志向の品揃え拡充に取組み、惣菜・ベーカリー部門においてはおいしさを優先した商品開発に努めてまいりました。また、高購買頻度商品の売価設定の柔軟な対応や顧客満足度を意識した高付加価値商品の開発に注力し、既存顧客の支持拡大と新規顧客の獲得に取り組んでまいりました。

当第1四半期累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため緊急事態宣言が発令され、外出自粛要請及び学校の休校などにより、家庭での内食需要、昼食需要が増加となり、米、麺類、レトルト食品などの保存食品や肉製品が大きく伸長し、昼食用の冷凍食品、食パン、チルド麺などの日配食品も好調に推移しました。一方で、衣料品部門は、外出自粛や衣料品単独店の営業時間短縮の影響もあり、シルバー層向けの衣料などが不調となり、前年同期比75.3%と大幅なマイナスとなりました。

経費管理面におきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点による集客抑制のため、特売チラシ等の配布・配信を4月中旬以降自粛したことにより広告宣伝費が大幅に削減、原油相場の低迷による水道光熱費の減少もあり、販売費及び一般管理費は前年同期比97.6%となり計画数値を下回りました。

この結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高100億76百万円(前年同期比2.1%増)、経常利益2億5百万円(同139.8%増)、四半期純利益1億38百万円(同182.6%増)となりました。

当第1四半期累計期間における店舗の状況は、新設・閉鎖店舗及び改装店舗は無く、2020年5月31日現在の店舗数は、34店舗であります。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比較して5億16百万円増加し194億26百万円となりました。

その主な要因は、未収入金の減少が99百万円、建物の減少が57百万円、差入保証金の減少が40百万円であったものの、現金及び預金の増加が6億89百万円であったことなどによるものであります。

（負債）

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比較して4億38百万円増加し144億22百万円となりました。

その主な要因は、短期借入金の減少が6億円、未払金の減少が2億68百万円であったものの、買掛金の増加が3億44百万円、長期借入金（1年内返済予定を含む）の増加が8億42百万円、賞与引当金の増加が1億1百万円であったことなどによるものであります。

（純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末と比較して78百万円増加し50億3百万円となりました。

その要因は、株主配当による減少が63百万円であったものの、四半期純利益の計上が1億38百万円及びその他有価証券評価差額金の増加が3百万円であったことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大により、国内外の経済活動へ影響が広がっており、今後の新たな感染拡大も想定されております。現時点において新型コロナウイルス感染症の収束時期の見通しは立っておらず、今後の景気動向等が不透明な状況の中、当社の業績を合理的に算定することが困難であることから、2020年4月10日に公表しました業績予想を一旦取り下げ、未定とさせていただきます。今後の動向を見極めながら、業績予想の算定が可能となった時点で改めて公表いたします。詳細につきましては、本日（2020年7月10日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第1四半期会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,924,762	2,614,559
売掛金	946,230	972,230
商品及び製品	1,546,676	1,552,762
原材料及び貯蔵品	66,807	74,732
前払費用	103,057	109,619
未収入金	446,424	347,043
その他	17,786	10,441
貸倒引当金	△267	△267
流動資産合計	5,051,477	5,681,122
固定資産		
有形固定資産		
建物	10,433,647	10,435,845
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,769,153	△6,828,569
建物(純額)	3,664,494	3,607,276
構築物	695,242	695,242
減価償却累計額及び減損損失累計額	△566,174	△571,082
構築物(純額)	129,067	124,160
機械及び装置	610	610
減価償却累計額	△490	△500
機械及び装置(純額)	119	109
車両運搬具	7,522	7,522
減価償却累計額	△6,947	△7,004
車両運搬具(純額)	575	518
工具、器具及び備品	504,201	496,333
減価償却累計額及び減損損失累計額	△461,058	△456,032
工具、器具及び備品(純額)	43,142	40,300
土地	7,222,022	7,220,531
リース資産	1,045,893	1,014,613
減価償却累計額及び減損損失累計額	△837,878	△819,644
リース資産(純額)	208,015	194,968
建設仮勘定	30,694	30,694
有形固定資産合計	11,298,132	11,218,559
無形固定資産		
ソフトウェア	74,353	68,902
ソフトウェア仮勘定	955	955
電話加入権	18,228	18,228
無形固定資産合計	93,538	88,087
投資その他の資産		
投資有価証券	182,332	186,649
出資金	479	479
長期前払費用	88,010	85,241
繰延税金資産	448,529	459,430
差入保証金	1,727,089	1,686,955
保険積立金	16,869	17,084
投資その他の資産合計	2,463,311	2,435,840
固定資産合計	13,854,982	13,742,487

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第1四半期会計期間 (2020年5月31日)
繰延資産		
社債発行費	3,800	2,836
繰延資産合計	3,800	2,836
資産合計	18,910,261	19,426,446
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,042,035	3,387,017
1年内償還予定の社債	50,000	350,000
短期借入金	4,050,000	3,450,000
1年内返済予定の長期借入金	1,161,382	1,384,684
リース債務	137,219	123,175
未払金	590,240	322,201
未払費用	301,269	339,477
未払法人税等	100,040	90,589
未払消費税等	78,735	130,480
前受金	20,406	20,910
預り金	563,807	553,050
賞与引当金	105,994	207,419
ポイント引当金	31,591	31,520
流動負債合計	10,232,723	10,390,525
固定負債		
社債	600,000	300,000
長期借入金	1,625,291	2,244,963
リース債務	179,600	164,161
退職給付引当金	879,567	855,577
長期預り保証金	293,039	292,729
資産除去債務	62,395	62,610
長期未払金	112,229	112,388
その他	90	9
固定負債合計	3,752,214	4,032,440
負債合計	13,984,937	14,422,965

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第1四半期会計期間 (2020年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	641,808	641,808
資本剰余金		
資本準備金	161,000	161,000
その他資本剰余金	190,215	190,215
資本剰余金合計	351,215	351,215
利益剰余金		
その他利益剰余金		
別途積立金	2,465,000	2,465,000
繰越利益剰余金	1,459,304	1,534,144
利益剰余金合計	3,924,304	3,999,144
自己株式	△1,672	△1,672
株主資本合計	4,915,655	4,990,495
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,668	12,985
評価・換算差額等合計	9,668	12,985
純資産合計	4,925,323	5,003,481
負債純資産合計	18,910,261	19,426,446

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)
売上高	9,868,948	10,076,370
売上原価	7,345,622	7,513,052
売上総利益	2,523,325	2,563,317
営業収入		
不動産賃貸収入	68,554	67,903
運送収入	215,137	224,959
営業収入合計	283,692	292,862
営業総利益	2,807,018	2,856,180
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	110,710	86,010
配送費	191,734	197,404
販売手数料	134,441	132,771
給料及び手当	467,817	472,736
賞与引当金繰入額	103,805	101,425
退職給付費用	27,355	26,125
役員退職慰労引当金繰入額	3,243	—
雑給	611,078	626,580
水道光熱費	214,824	199,953
減価償却費	118,132	98,370
地代家賃	218,868	216,899
その他	521,556	499,236
販売費及び一般管理費合計	2,723,569	2,657,514
営業利益	83,449	198,665
営業外収益		
受取利息	2,429	2,106
受取配当金	4,055	4,457
受取事務手数料	—	3,416
助成金収入	3,000	1,050
雑収入	3,803	5,458
営業外収益合計	13,288	16,488
営業外費用		
支払利息	9,584	7,516
社債発行費償却	963	963
雑損失	361	898
営業外費用合計	10,910	9,378
経常利益	85,827	205,775
特別損失		
減損損失	3,104	3,120
固定資産除売却損	9,524	1,119
特別損失合計	12,628	4,239
税引前四半期純利益	73,199	201,536
法人税、住民税及び事業税	43,071	75,394
法人税等調整額	△18,712	△11,899
法人税等合計	24,358	63,494
四半期純利益	48,840	138,041

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社では、固定資産の減損損失の測定や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについて、財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。新型コロナウイルス感染症の感染拡大による当社事業への影響は、緊急事態宣言は解除されたものの、今後の新たな感染拡大も想定され、翌事業年度以降に本格的な回復傾向になると仮定し会計上の見積りを行っております。

新型コロナウイルス感染症の収束時期及び経済環境への影響が大きく変化した場合には、翌事業年度以降の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。